

広報④  
No.743  
令和8年

# いいたて 1

[www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)

## 迎春



みんなで作った大きなかがみもち





飯舘村長

杉岡 誠

新年を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げます。

昨年も引き続き、新たな挑戦が続く、活性化目覚ましい一年となりました。

村として初のドラッグストアをはじめ、菓子店、飲食店、ラーメン店がオープンしたほか、各社の事業展開が進むなど、ワクワクする話題に恵まれ、暮らしの利便性・安心感・喜びのステッブアップに寄与することが出来ました。また、村内各所で、ふるさとの担い手の皆様によるイベントが多数開催されたことに加え、年末には、山津見神社の例大祭にて、茶屋や出店が軒を連ねる懐かしい風景に、心躍った皆様も多くいらっしゃったことと存じます。

こうして「村を興さん、村を富まさん」とする村民の皆様の開拓者精神、熱き想いが、つひ



飯舘村議会議長

佐藤 眞弘

新しい年を迎え、村民の皆様

様に心からのご挨拶を申し上げます。昨年も、議会活動に温かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

飯舘村は震災からの復興を歩み続け、少しずつ「ふるさとらしさ」を取り戻してきました。田畑に緑が戻り、地域の行事に笑顔が集まり、子どもたちの元気な声が響く姿は、何よりの力となっています。こうした日々の営みを支えてくださる村民の皆様に、心から感謝いたします。

新しい年も、議会は「村民の暮らしを第一に」という思いを忘れず、皆様の声をしっかりと受け止めながら進んでまいります。人口減少や高齢化など課題はありますが、村民

とつ結実してきております。

本年は、飯舘村「村政施行70周年」という節目であります。昨年議決いただいたプレミアム付き生活応援商品券も販売が始まりますので、ぜひ有効にご活用いただきたく存じます。

そして、令和8年4月からは村民の皆様の生の声をお聞きしながら、多くの皆様と共に創案・策定した「第7次総合振興計画」がスタートいたします。

躍動や成功を連想させる「午年」ですので、「美(うる)わしく 清らかな村 いいたて」に向かつて、皆様と手と手を取り合つて、駆け上がり、前進していけるよう、一層努めてまいります。

結びに、皆様の益々の健やかさとお幸せを心よりお念じ申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

一人ひとりの知恵と絆があれば、必ず乗り越えられると信じています。

子どもたちが安心して学び、若い世代が夢を描き、高齢の方々が穏やかに暮らせる村であること。それが私たちの目標です。教育や福祉の充実、地域資源を活かした産業づくりなど、未来につながる取り組みを皆様と二緒に進めていきたいと思ひます。

本年も、議会はできるだけ分かりやすく、開かれた姿勢で活動してまいります。どうぞ気軽に声をかけていただき、共に「住み続けたい、帰りたいと思える飯舘村」を築いていきましょう。

結びに、村民の皆様の健康と幸せを心から祈り、新年のご挨拶といたします。

迎春

令和八年



目次 CONTENTS

02	新春のごあいさつ
04	特集「冬の暮らし 気をつけたい防火・クマ対策」
08	お知らせ「金婚おめでとうございます」
09	ほけんとふくし「民生・児童委員」
10	学びの広場「こども園生活発表会」ほか
12	報告「12月議会定例会」
14	報告「令和7年度事業から」
16	いいたて便り
18	話題のパレット
20	村からお知らせ
21	歴史の散歩道／ふれ愛館だより
22	いいたてPHOTOリレー ほか
23	ひとのうごき ほか
24	ほっとNEWS ほか

📷 今月の表紙



までいの里のこども園の子ども達が、12月18日に鏡餅づくりを行いました。表紙はつき組（4歳児）の仲良しさん。力を合わせて大きな鏡餅をつくりました。上の写真のそら組さん（5歳児）は一人ひとりが自分の鏡餅をつくりました。みんなで田植えや稲刈りをしたもち米が入った特別なお餅です。きっと素敵な年が迎えられるね。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

特集

# 冬の暮らし

## 気をつけたい防火・クマ対策

安心安全に  
よいお年を！

新しい年を迎えて、いかがが過ぎでしょうか。過ぎし1年を改めて振り返り、未来への一歩を踏みしめる時季ですね。よりよい1年になりますように。また、本年も「広報いいたて」をよろしく願っています。さて、近年は、猛暑や乾燥の影響から大規模な林野火災が発生し、対策が課題となっています。

また、冬本番を迎え、全国的に住宅火災のニュースも相次いでいます。飯館村でも12月に、獣害対策の花火が原因の林野火災が発生しました。火災予防もクマ対策も、安心安全な暮らしにつながる大切な取り組みだからこそ、十分に気をつけて行っていきたいです。

日頃から村の火災予防を牽引する南相馬消防署飯館分署と、獣害対策に支援をいただいている福島県避難地域鳥獣対策支援員の京黒篤志さんに、この季節ならではのアドバイスを願いました。ぜひ参考に、生活環境を見直していただき、地域ぐるみで安心安全な年始めにいきましょう。



現在全国的に空気が乾燥しており、火災がおりやすい季節となっております。

急に風向きが変わり、思わぬ方向に燃え移ってしまったり、逃げ場を失ったりなど、とても危険です。火の取り扱いには十分にご注意ください。

村内では昨年末、3日間のうちに2件の林野火災が発生しました。「私は大丈夫だ。うちでは大丈夫だ」と思わずに、今後も火の用心を心がけてくださいますようよろしくお願いします。

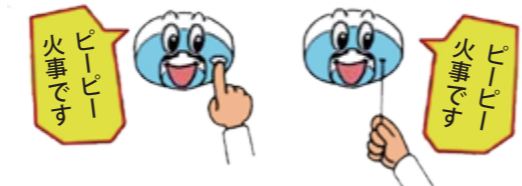
空気が乾燥しています  
火の取り扱いにご注意を

## 枯草火災に注意

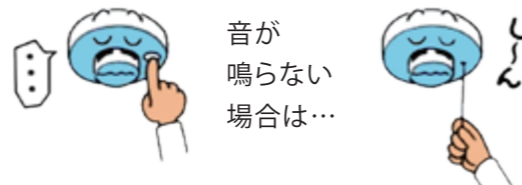
### 防火7つのポイント

- 1 コンロを使う時は火のそばを離れないで。
- 2 寝たばこ、たばこのポイ捨ては、絶対しない。
- 3 ストープの周りに燃えやすい物を置かない。
- 4 コンセントの掃除を心掛けましょう。
- 5 家の周囲を整理整頓しましょう。
- 6 万が一に備え、消火器を設置しましょう。
- 7 乾燥期や風のある日は、火はあっという間に燃え広がります。火の取り扱いには十分注意しましょう。

### 住宅用火災警報器の点検を



ボタンを押す、またはひもを引いて定期的に作動確認をしましょう。確認をしながら家族で火災時の警報音を聞いてみましょう。



音が鳴らない場合は、電池がきちんとセットされているかご確認ください。それでも鳴らない場合は電池切れか機器本体の故障ですので取扱説明書をご覧ください。



問 南相馬消防署飯館分署  
☎0244-42-0119



イノシシやクマよけのため、花火や爆竹を使用する機会も増加しています。山林に燃え移らないよう十分ご注意ください。

飯館村 令和7年1月1日～12月5日まで

火災件数..... 3 件

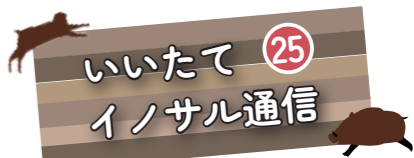
建物..... 1 件  
林野..... 2 件  
車両..... 0 件  
その他..... 0 件

救急件数.....102件

急病.....69件  
交通事故..... 2 件  
けが.....22件  
その他..... 9 件



## 「クマが冬眠している間に考えること」 ～飯舘村にはクマがいるという前提で～



特別編

### 今のうちに考えておくこと

村内では、まだクマが住宅地に出没してはいませんし、畑や果樹が荒らされているという情報もありません。クマがいるとしても、まだ人里にエサがあることに気づいていないのかもしれませんが。でも、来年になって、クマが「畑に行けばおいしいものがたくさんある」と気づいてしまうと、どうなるのでしょうか。農業への被害だけでなく、人身被害が起きてしまうかもしれません。今のうちに、私たちにできることを考えましょう。

今までのいろいろな広報記事（本紙の「イノサル通信」や「鳥獣対策だより」など）でも何度か説明させてもらいましたが、銃やわなを使わない一般の人にはできる対策は、

- ①環境整備
- ②防除

の2つです。これは、本当に基本的なことなので、対象となる動物の種類が変わっても同じです。

環境整備は、動物が隠れ場所として好むヤブの草刈りをしたり、収穫せずに放置されたカキやクリなどの果樹をなくしたり、いらない野菜を畑に放置しないことです。防除は、電気柵やワイヤーメッシュ柵などの防除柵で農地を囲って、正しく機能するように維持管理することです。飯舘村では、防除柵が設置されている光景をよく見ますし、対策の手法が普及されていると思います。それでも、環境整備と防除が正しくできているのか、もう一度見直してみませんか。

クマはもともと東北地方には広く生息している動物ですし、山奥にいただけなら大きな被害は出ません。今は、春以降にクマの被害が出てしまわないように、できることを考えましょう！

正しく知って、冷静に警戒してください！  
この機会に、獣害対策を見直しましょう！



イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する京黒さんからのお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員

きょうぐろ あつし  
京黒 篤志 さん

令和3年1月から福島県避難地域鳥獣対策支援員を務めています。令和6年度から飯舘村の主担当となりました。

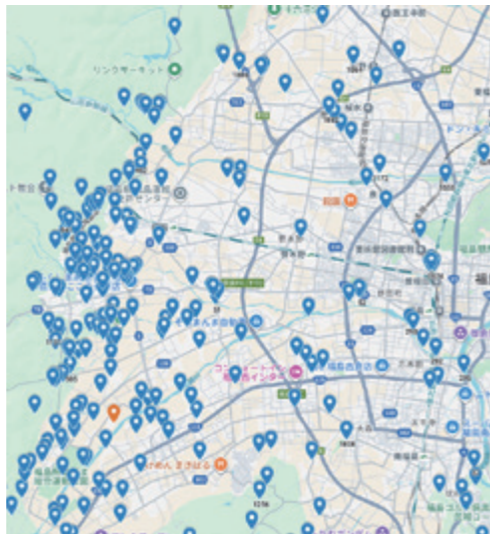
ツキノワグマの目撃情報が確認できます

福島県内では例年、ツキノワグマの出没が多数発生しており、県が、福島県警から提供された情報を基に、ホームページ上で目撃情報を公表しています。ツキノワグマとの遭遇を避けるために、有効にご活用ください。

地図上にピンが表示されており、ピンをタップもしくはクリックすることで、詳細情報が表示されます。



福島県ホームページ  
福島県ツキノワグマ目撃情報



### 結局、クマはいるのか

広報いいいて令和7年7月号で、村内で目撃されたクマの情報のうち、本当にクマである可能性が非常に高い事例を紹介しました。また、クマに遭遇した時にどうすればよいのか、人身被害を防ぐ方法も紹介しました。7月号がお手元にある方は、ぜひもう一度読み返してください。

その後にあったことを説明します。7月30日に、大倉地区のはやま湖西岸から2.5kmほど西側の道路上で、クマのような足跡があるという連絡を受け、7月31日に現場を確認しました。現場に残された足跡はクマと断定できるもので、幅11cmほど、成獣（オトナ）のサイズでした。8月6日に現場付近のクマが通りそうな場所に自動撮影のカメラを1台設置したところ、9月6日に1頭のクマが撮影されました。それ以降、カメラを5台に増やして10月22日まで調査を続けましたが、もうクマが撮影されることはありませんでした。今のところ、映像など確かな証拠のある出没情報は9月6日の撮影が最後です。

足跡の発見とカメラでの撮影を一つの事例としてまとめるなら、今年度だけで3回の確かな出没事例があったわけです。村内にクマがいらないと考える方が不自然ですし、今後も出没する可能性があるとして対策を考えた方がよいと思います。

ただし、クマがいるとしても、12月から3月頃までは、普通ならクマが冬眠する時期です。クマが冬眠するのは、冬にエサが少ないからです（メスは出産のために冬眠します）。「冬眠しないクマもある」といううわさ話もよく聞きますが、冬に出歩いて体力を消耗する面倒臭さを上回るほどのよいことがなければ、基本的には冬眠しているはずですよ。



現場付近で撮影されたクマ  
(9月6日 自動撮影カメラ)



足跡が残っていた現場(7月31日 大倉)



現場の足跡(後足)



現場の足跡(前足)



新たな任期がスタート  
民生・児童委員の皆さんを紹介します

12月1日、厚生労働大臣の委嘱を受け、民生児童委員の新たな任期が始まりました。民生児童委員は、住民の見守りや支援を行い、地域福祉の推進を担います。また、行政機関の業務に対する協力も職務の一つになっています。任期は3年間で、令和10年11月30日までとなっています。

民生・児童委員の皆さんは、地域住民の福祉の相談役です。どうぞよろしくお願いします。

### 金婚おめでとうございます 結婚50周年をお祝いしました

6組のご夫婦が、めでたく金婚の節目を迎えられました。お祝いの気持ちを込めて、杉岡村長が褒状と記念品をお届けし、対話を通して、ご夫婦の歩んできた道のりやこれまでのエピソード、円満の秘訣などを教えていただきました。ここでは3組のご夫婦のお話を紹介します。※掲載は順不同です。



菅野清 さん・榮久子 さん (草野)

家族仲良く笑顔で暮らそう  
村でスポーツ推進委員や体育指導員を務める清さんと、妻の榮久子さん。最初の出会いは小学校だったそうです。若い頃から旅行を楽しんでいて、今も友達と一緒に旅に出かけています。「夫婦もちろん、家族全員で仲良く笑顔で暮らす事が、円満の秘訣です」と清さん。お孫さんからもらった金婚記念の写真を浮かべながら、うれしそうに笑顔を浮かべていました。

感謝の気持ちを大切に  
長年民生委員として活動していた正美さんと妻の幸子さん。正美さんは、「山あり、谷あり、楽ばかりの50年ではなかったけれど、たくさんの方々と何より妻に恵まれました」と優しい笑顔を浮かべます。「互いの欠点を見るのではなく、よいところを見続けること、どんなことでも当たり前と思わずに感謝すること」が夫婦円満の秘訣と語りました。



菅野正美 さん・幸子 さん (佐須)



赤石澤榮 さん・敏子 さん (臼石) ※写真は赤石澤さん提供

地域の人に恵まれました  
村でラーメン店を営み、震災後も仮設住宅で営業を続けていた赤石澤さんご夫婦。「大変だった時も、いろいろなイベントを地域の中で共に行ってきた。地域の人に本当に恵まれた」としみじみ語ります。仲良しの秘訣は、「お互いを理解し合っている所」とのこと。「夫婦としてはもちろん、家族や地域の人達と、手を取り合っていきたい」とこやかに語りました。

## いいたて希望の里学園 『My弁当の日』

児童生徒が家族と一緒に作った弁当を持参する『My弁当の日』。食育の一環で、家族への感謝を育む機会ともなっています。12月4日、子ども達は各家庭で、調理をしたり弁当箱におかずを詰めたり、自分にできる“弁当づくり”に取り組みました。昼食時には、彩り豊かな弁当、好きな物を詰め込んだ弁当など、おいしそうなお弁当が並びました。



## いいたて希望の里学園 ゆずの寄贈をありがとう

11月12日、小林藤吾さん（東京都在住）からゆずの贈り物が届きました。小林さんは、震災後に義援金も送ってくださっていて、今も村の子ども達に想いを寄せ、ゆずの贈り物は一昨年から3年連続でいただいています。子ども達は、早速ゆずを顔に近づけて瑞々しい香りを楽しみ、温かな応援のメッセージを受け取っていました。



## までいの里のこども園 「おたのしみ会」

12月12日、わんぱくほーるで「おたのしみ会」を開きました。会ではクリスマスの曲を歌って元気にダンス。先生が演じる劇も、大喜びで楽しみました。後半にはサンタ・クロースがサプライズで登場し、一人ひとりにプレゼントを手渡しました。「みんなが1年間よい子でいたから来てくれたんだよ」という先生の言葉に、誇らしい笑顔で応える園児達でした。



## までいの里のこども園 ライオンズクラブから贈り物

12月11日、飯館ライオンズクラブ（渡邊春治会長／小宮）から季節の花の贈り物をいただきました。赤、白、ピンクと色とりどりのシクラメン8鉢です。園児達は、届けていただいた花を前に「すごきれい!」と笑顔を見せ、歌を歌って感謝を伝えました。シクラメンは、どこに飾るか子ども達の相談をもとに配置され、園舎をやさしく彩りました。



## までいの里のこども園 生活発表会

11月29日に開催。一人ひとりの園児が、発表を通して成長した姿を披露しました。

創作劇「おおきなはっぱ」はな組（2歳児）



表現遊び  
「おばけさんとかくれんぼ」  
つぼみ組（1歳児）



劇遊び  
「おおきなカブ」  
たいよう組  
（3歳児）



オープニング  
「ドレミのうた」  
そら組（5歳児）

創作劇「ともだちほしいなさめくん」そら組（5歳児）



いきいきと表現を楽しむ子ども達を温かな拍手や手拍子で応援!観客席も笑顔でいっぱいでした。

創作劇「カマキリ忍者と女郎蜘蛛」つき組（4歳児）

合唱「さんぽ」3歳以上児



令和7年 第8回飯舘村議会定例会



令和7年12月議会定例会は、12月5日から12日までの日程で開かれました。一般質問は12月9日・10日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。

議案審議は12月12日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。

令議会で可決された議案など

令和7年度

飯舘村一般会計補正予算

令和7年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算

令和7年度飯舘村介護保険特別会計補正予算

令和7年度飯舘村後期高齢者医療特別会計補正予算

令和7年度飯舘村簡易水道事業会計補正予算

令和7年度農業集落排水事業会計補正予算

飯舘村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

飯舘村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

農業水利施設等保全再生事業ため池放射性物質対策工事（洞の入ため池）請負契約の変更について

宮農再開支援水利施設等保全事業（飯舘西部その1）ため池放射性物質対策及び補修工事（大橋ため池）請負契約の変更について

宮農再開支援水利施設等保全事業（飯舘東部その1）ため池放射性物質対策及び補修工事（大吹ため池）請負契約の変更について

農業水利施設等保全再生事業ため池放射性物質対策工事（股田川ため池）請負契約の変更について

深谷地区産業団地整備農道大森線配水管布設工事請負契約の変更について

飯舘村第7次総合振興計画につき議会の議決を求めることについて

村長等の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

深谷地区産業団地整備

5月に着工した深谷地区産業団地整備旧飯舘校等解体工事1期工事の進捗について、校舎以外の畜産実習室や周辺住宅などの解体を終え、10月末までに60%の進捗率とほぼ計画通りに進捗しており、現在は校舎の本格的な解体が進められています。

行政区ヒアリング

11月9日から28日にかけて、各行政区の課題と要望について、行政区毎のヒアリングを実施しました。

20行政区共通の課題として、高齢化、後継者の問題と地域コミュニティの在り方が問われた他、国道の除草や支障木伐採などを含む道路に関すること、遊休農地、基盤整備事業及び獣害対策などの農業・農村に関すること、地域内の住環境整備に関することが挙げられ、村のこれからの再生と発展に向け、互いの共通認識の確認と方向付けについての貴重な意見交換の場となりました。

村民の帰還状況

11月1日現在の帰還者は631世帯、1175人で、帰還率は約27%となっています。これに、転入者274人と「いたてホーム」の入所者等を合わせ、村内居住者は818世帯、1508人となっています。

また、避難を継続している方の状況についてですが、県外避難者が141人、県内避難者は、福島市に1791人、南相馬市に252人、伊達市に226人、川俣町に197人、相馬市に110人など、合わせて2720人となっています。

健康福祉課関係

昨年度同様に重症化しやすい65歳以上の方を対象に自己負担なしで接種できる「定期接種」をお知らせ版で案内しています。

全国的にインフルエンザの流行期が例年より早く到来しており、村として引き続き感染症の重症化流行を防ぐために予防接種の勧奨に努めていきます。

農政関係

水稲について、今年は296.4ヘクタールの水田において作付け

され、この秋に、うるち米、飼料用米、酒米などが収穫されました。これらは、今年も飯舘村ライセンサーでの全量全袋検査をはじめ、県が定めるモニタリング検査を行っており、11月中旬時点でその全てについて、放射性物質濃度が検出限界値未満でしたので、生産された主食用米及び飼料用米の全量が出荷または自家消費される見込みです。

あぶくまもちについて、村の特産品化を目指して栽培を推進して5年目ですが、今年もあぶくまもち生産組合協力のもと、栽培及び種子生産に取り組み、27.2ヘクタールのほ場に作付けを行い収穫しました。このうち、食用分については消費拡大、販路確保、宣伝のため、今年も株式会社セブン・イレブン・ジャパン協力のもと、昨年度に引き続き、あぶくまもちを加工した切り餅が、同社の贈答用商品として、全国に向け販売受け付けが始まっています。今後も村の特産品として栽培面積拡大、消費拡大、販売促進を進めていきます。

意欲ある担い手に農地を集約する農地中間管理事業について、今年度は、これまで10地区

において農地の貸借契約を締結し、合計305.7ヘクタールの担い手への農地集積を行いました。これにより昨年度までの集積面積との合計は16地区約875.1ヘクタールとなりました。引き続き、地域計画に基づき農地の利用集積を推進していきます。

きこり、あいの沢

「宿泊体験館きこり」の本年4月から10月末までの全体利用客数は8385人で、このうち宿泊利用者は867人となっています。指定管理者である飯舘村振興公社では、本年11月1日から施設利用料金の見直しを行った他、宿泊者や団体客への飲食サービスを再開し、宿泊者への夕食・朝食の提供や、法要、団体利用などで飲食サービスが提供されています。

「村民の森あいの沢」について、今年4月よりオートキャンプ場及びフリーサイトには、10月末までに2458人の利用がありました。昨年初めて実施した冬キャンプについては、本年も12月下旬まで営業をすることとした。今後も村の観光・交流の拠

点として村内外に広くPRし、交流人口の拡大を図っていきます。

建設課関係

村道舗装機能回復工事について、今年度工事を進めている長泥地区の4路線、延長240メートルは、今月末にはすべて完了の見込みです。また、普通河川の除草について、延長約18.4キロメートルを今年度も実施しました。

村道の除雪については、事業者への委託と合わせて、今年度においても5つの行政区による行政区委託により除雪を行う体制を整え対応していきます。

農業基盤整備促進事業について、用排水路の機能診断と暗渠排水の機能診断を進めています。機能診断については、各行政区の工事協議担当者、担い手等へのヒアリングや、現地踏査等により実施しており、用排水路の機能診断は令和8年度末までに概ね完了予定であり、暗渠の機能診断については今年の11月をもって概ね完了したところです。今後、機能診断及び国との協議が完了した箇所から、順次、工事を進めていきます。



上は道の駅のサテライト相談窓口と、ふるさと住民向けイベント「おかえり、ただいま、はじめまして感謝祭」。右は首都圏での移住イベント「第21回ふるさと回帰フェア2025」「福島くらし&しごとフェア2025」の様子。

## 移住定住促進事業 移住サポートセンター業務

いいたて移住サポートセンター3ど°を中心に、移住定住促進事業を展開しています。

令和7年度からは、いいたて村の道の駅までい館にもサテライト相談窓口を開いて、村を訪れる皆さんとの接点を増やし、移住相談や情報提供を行っています。また、首都圏での移住イベントにも出展して飯舘ぐらしの魅力を伝えています。

3ど°では、移住後の相談への対応、地域おこし協力隊の活動のサポートも行っています。また、長く村で暮らす皆さんと新たな村民が交流する機会の創出、ふるさと住民の皆さんに感謝を伝えるイベントの開催、空き家対策などにも取り組んでいます。



## 魅力向上発信事業 ギヨーム・ティレル学校と交流

「食」を通じた交流が続くフランス・パリの公立ギヨーム・ティレル学校を、魅力向上発信事業の担当職員が、農家レストラン「氣まぐれ茶屋ちえこ」の佐々木千栄子さん(佐須)、事業に協力する日本調理技術専門学校(郡山市)と共に訪問しました。飯舘村の現状などについて話をしながら、佐々木さんは学校の厨房で調理を行い、郷土料理を関係者に振る舞いました。

同校は令和5年に続いて令和7年にも村を訪れ、「氣まぐれ茶屋ちえこ」の他、道の駅や精肉店「肉のゆーとぴあ」などを視察。飯舘村の歩んできた道のりを学び、力強い食の魅力にも触れています。

佐々木さんは、現地で、もち米「あぶくまもち」を使ったおこわや柏餅、凍み餅料理などを、日仏の学生らと共に調理。飯舘村の食文化の魅力を伝え交流しました。



## 飯舘村の魅力を伝え人を呼び込むさまざまな事業を展開しています

令和7年度事業から

### 飯舘村の魅力を深掘り 飯舘YOITOKO発見!ツアー

飯舘村のディープな魅力に触れていただく「飯舘YOITOKO発見!ツアー」は、令和4年度にスタートし、これまで通算11回にわたり開催しています。

12月6日に開催した第11回ツアーには、県内外から27人が参加。15年ぶりに屋台が復活した山津見神社の例大祭を見学し、昼食には手づくりの郷土料理を味わっていただきました。

また、音楽家の大友良英さんをツアーゲストに迎えて、東日本大震災後における「文化の果たす役割」などをテーマにトークステージを催し、「即興オーケストラ」の体験イベントにも全員で参加しました。参加者からは「想像よりずっと飯舘村が元気でほっとした」「お祭りが楽しくご飯もおいしかった」「皆さんの心に触れて元気をもらった。また訪れたい」といった感想が聞かれ、飯舘村の魅力を心に刻んでいただけたようです。

※「即興オーケストラ」についてはP16をご覧ください。



### 移住検討者向けモニターツアー 移住定住「暮らし体験ツアー」

令和7年度は、2泊3日のツアーを全5回開催。第1回から第3回までを子育てファミリー層向け、第4回と第5回を若年層向けとし、工程を工夫しました。

12月5日から7日に実施した第5回のツアーには、飯舘村や、地方暮らしに関心を持つ若者12人が参加。ふくしま再生の会の菅野宗夫さん(佐須)、いいたて結い農園の長正増夫さん(大久保・外内)、地域おこし協力隊の秋山聖奈さん(上飯樋)・もりの駅まごころ運営協議会の鮎川邦夫さん(小宮)など多くの村民と交流しました。積極的な質問もあり、熱量の高い雰囲気がありました。こちらのツアーも山津見神社の例大祭などに足を運び、「にぎわいづくりの取り組みが印象に残った」という声が聞かれました。ツアーの終盤では、「今後も飯舘村に関わりたい」という声も聞かれ、挑戦したいことや関わり方のアイデアなどが話し合われていました。





式には長正会長（前列左から2人目）と事務局の大東勇さん（前列左端／宮内）が出席しました。

## 多面的機能支払交付金 優良事例表彰

福島県多面的機能支払交付金優良活動表彰の審査が行われ、「飯舘村多面的機能広域協定」の事例が、「優秀賞」（福島民友新聞社賞）に選定されました。表彰式は、12月15日に、福島県土地改良会館（福島市）で行われ、長正増夫会長（大久保・外内）が出席しました。長正会長は表彰を受けて「村として本交付金の趣旨をしっかりと理解できているからこそ、広域的な取り組みができている。この表彰を契機に、村全体がより美しくなるよう配慮しながら事業を実施していきたい」と意気込みを語りました。



11人の参加者がそれぞれ素敵なアレンジメントを完成。前列右から4人目と3人目が講師の谷口ご夫妻。

## クリスマスを彩る アレンジメント教室を開催

12月17日、交流センター「ふれ愛館」で『クリスマスのアレンジメント教室』を開催しました。アンズリウムをメインに、スターチスやユーカリ、松ぼっくりなどを使ったクリスマスにぴったりのアレンジメント。講師はアンズリウムの栽培に取り組む株式会社スマイルファーム（川俣町）の谷口豪樹さん・範子さんご夫妻です。花材の扱いや長く楽しむためのコツなど、生産者ならではのアドバイスも交えて、華やかなアレンジメントを教えていただきました。終始和やかに制作を進め作品を完成させた皆さん。「楽しかった」と笑顔を見せていました。



既存の大谷地団地内に10戸の住宅を建設しています。年度内に竣工する予定です。

## 福島再生賃貸住宅 『大谷地団地』入居者募集中

草野地区に建設中の福島再生賃貸住宅『大谷地団地』について、入居者を募集しています。

募集住宅は2LDK（戸建て・2階建）が4戸、3LDK（戸建て・2階建）が6戸の合わせて10戸。世帯所得が中位（月額15万8,001円以上48万7,000円以下）の世帯が対象で、所得額に応じた家賃になります。募集期間は1月16日までで、入居時期は令和8年の4月以降となる見込みです。入居要件など詳しくは12月5日発行のお知らせ版をご覧ください。お問い合わせは建設課建設管理係 ☎0244-42-1624までお願いします。

## 飯舘村第7次総合振興計画 飯舘村振興計画審議会が答申

12月3日、飯舘村振興計画審議会の鈴木典夫会長が、「飯舘村第7次総合振興計画（案）」に関する諮問に対し、杉岡村長へ答申を行いました。

計画（案）は、村の将来像に「美しく 清らかな村 いいたて」を掲げ、4つの分野に分けて基本施策をまとめています。その実現のために、「村民一人ひとりが主体的に参画できる環境づくり」「村の将来を見据えた方針の丁寧な説明」「施策の進捗状況における透明性の確保」などの事項に努めるよう、答申が行われました。



答申は村役場で行われました。計画案を手にする鈴木会長（右）と答申書を手にする杉岡村長。

※計画（案）は12月議会に上程され、議会の審議を経て12月12日に成案となりました。

## 交通事故死者ゼロ 3000日を達成！

飯舘村が12月4日の午前0時で「交通事故死者ゼロ3000日」を達成し、同日村役場で表彰状伝達式が行われました。高橋和司相双地方振興局長から伝達を受けた杉岡村長は「村民による注意喚起や安全確保、環境整備があって達成できた。表彰を励みに、これからも村民と共に交通安全を徹底していきたい」と感謝しました。式には安齋晴夫飯舘駐在所長、高橋英明同連絡協議会長（上飯樋）、木幡保雄飯舘村交通指導隊長（宮内）、佐藤昇南相馬地区交通安全協会飯舘分会事務局長（草野）らが出席しました。



高橋振興局長（前列左から2人目）が来庁して伝達を行い、式には村の幹部と関連機関の代表が出席しました。

## ひみつ基地どきどきで 大友良英さんとオーケストラ！

12月6日、ひみつ基地どきどきで、音楽家の大友良英さんと地元の子供たちが「即興オーケストラ」に挑戦する音楽イベントが行われました。大友さんは、中高生時代を福島市で過ごしました。NHK朝ドラ「あまちゃん」の音楽を担当するなど多くのメディアで活躍し、一方、音楽を通して東日本大震災の被災地に寄り添い続けています。会場に集まった子供たちが、大友さんの呼びかけで持ち寄った“音の鳴る物”を使って、指揮に合わせて短い音や高い音を出したり、指名された人がソロ演奏をしたりして「即興オーケストラ」を楽しみました。



飯舘YOITOKO発見！ツアーと移住定住「暮らし体験ツアー」の皆さんも合流し、皆で演奏を楽しみました。

## 防犯と交通事故防止の啓発活動

12月12日、『年末年始防犯交通事故防止啓発運動』が実施され、飯館村防犯指導隊、南相馬警察署飯館駐在所、飯館村交通安全指導隊が、村内の金融機関や事業所を訪問。防犯グッズを配布し、犯罪防止と交通事故防止を呼びかけました。飯館村防犯指導隊の渡邊富士男隊長（飯樋町）は、「この時期は特に犯罪や事故が多くなる。お客さんにもしっかり注意を促してほしい」と各所に協力を求めています。※写真はハシドラッグ飯館店。



## 「座右の銘」石碑除幕式

いいたて村の道の駅までい館の前庭に、『座右の銘』の石碑が新たに7基設置され、11月30日に除幕式が行われました。有志が自身の座右の銘を刻んだ石碑を建てるプロジェクトで、設置は今回が5回目。遊歩道の先端まで全36基が並びました。式では各設置者が石碑に込めた思いを語りました。本事業を主催する菅野典雄さん（佐須）は、「道の駅を訪れる多くの方に見てもらい言葉が人生の糧になればうれしい」と笑顔を見せていました。



## 大盛況！飯館産黒毛和牛販売会

12月13日、いいたて村の道の駅までい館で「飯館産黒毛和牛精肉販売会」が開催されました。今回販売された牛肉は、畜産農家の佐藤隆男さん（飯樋町）が育てた黒毛和牛。開店前から建物の入口に多くの人々が並びました。人気が高いサーロインやロースなどの部位はすぐに完売。購入した方からは、「年末に家族と一緒に食べようと思う」「飯館村の牛の味は間違いがない」と、味わう楽しみや、飯館産の牛肉に対する期待の声が聞かれました。



## 協力隊・秋山聖奈さんがラーメン店をOPEN!

12月15日、飯館村地域おこし協力隊の秋山聖奈さんがラーメン店『麺屋骨道』をオープンしました。飯館村産黒毛和牛の牛骨をふんだんに使った味わい深いスープに、中太ストレートの自家製麺を合わせた牛骨醤油ラーメンは、柔らかく煮込んだ大きなチャーシューや薬味のタマネギをアクセントに。共に店を営む夫の齊さんと研究を重ねた逸品です。「牛骨ラーメンを通して、飯館の牛の魅力も広めていけたらうれしいです」と聖奈さん。写真の牛骨醤油の他、牛骨白湯醤油、牛骨辛味噌の3メニュー。ぜひ皆さんも味わってみては。



麺屋骨道（めんやこつどう）

住 所 飯館村草野字大師堂65  
営業時間 午前11時～午後2時30分  
※スープ・麺がなくなり次第終了  
定 休 日 毎週月曜日



ホームページ



Instagram



## 「男性の集い」ピザづくり交流会

11月28日、あがべご訪問看護ステーションが、運営する「ぽ〜ぽ家」で『男性の集い』を開催。庭に設置したピザ窯をお披露目し、参加者が協力して生地からピザづくりに挑戦しました。中には人生で初めてピザを食べるという方も。「とてもおいしい」「みんなと食べられてよい思い出になった」と、皆さん交流も楽しんでいる様子でした。



## 飯樋町パークゴルフ協会が大会

11月23日、「飯樋町パークゴルフ協会」主催の大会が開催されました。会場は、飯樋町パークゴルフ場です。同協会の会員数は現在38人で、令和7年を締めくくる、この年14回目の大会には21人が参加。朝の澄んだ空気と、高台から望む田園風景を楽しみながら、和気あいあいとプレーに励みました。飯館村地域防災センターの東側、ふれあい公園の高台に位置する9ホールのパークゴルフ場です。「どなたでも無料で気軽に利用してほしい」とのことです。



## 行政区ヒアリングを実施しました 持続的な地域の発展を見据えて

11月9日から28日にかけて、「行政区ヒアリング」を村役場で実施しました。

行政区ごとに時間を設け、役員の皆さんから、課題や要望についてお聞かせいただくもので、例年この時期に実施しています。

今年も、それぞれの行政区が抱える課題や意見をお聞かせいただき、情報を共有しました。今年のヒアリングでは共通して「後継者問題」や「地域コミュニティの在り方」が議題に上がりました。また、国道・県道の除草や農地の基盤整備など、具体的な課題についても状況を確認し、解決に向け意見を交わしました。



宮内行政区



大久保・外内行政区

## 12月の村の動きと主なできごと

- 1日～3日・ゆずカフェ(いちばん館)
- 2日・民生委員・児童委員委嘱状交付式(いちばん館)
- 3日・飯館村振興計画審議会 飯館村第7次総合振興計画(案)答申(村役場)
- 4日・交通事故死者ゼロ3000日表彰伝達式(村役場)
- 5日・5歳児健診(いちばん館)
- 5日～7日・移住定住「暮らし体験ツアー」(村内各所)
- 5日～12日・12月議会定例会(議場)
- 6日・第11回飯館YOTOKO発見!ツアー(村内各所)
- 12日・年末年始防犯交通事故防止啓発活動(村内各所)
- 17日・乳幼児健診(いちばん館)
- 17日・クリスマスのアレンジメント教室(交流センター「ふれ愛館」)
- 18日・定例教育委員会(村役場)
- 19日・農業委員会定例総会(村役場)
- 20日・自主文化事業「クリスマスコンサート」(交流センター「ふれ愛館」)
- 22日・花き勉強会(ビレッジハウス)
- 26日・仕事納めの式(村役場)
- 30日・佐藤ヨシノさん 百歳賀寿

## 歴史の散歩道

### 初夢拾う会 飯館名物のホラ吹き大会

「初夢拾う会」の通称は『ホラ吹き大会』。参加者が、その年のテーマに合わせ、とびきり大きな夢(ホラ)を語るもの。「みかげ石でピラミッドを」「村に有線テレビ

一方、村おこし集団「夢創塾」の青年達も、村の将来を熱く語り、地域づくりに邁進していました。彼らの発案で実行委員会が立ち上げられ、昭和62年にスタートしたのが、「新春村民のつどい」の名物コーナー、『初夢拾う会』です。

『初夢拾う会』で語られた夢(ホラ)がきっかけで、お嫁さんゝを海外研修に送り出す「若妻の翼」が実現したと言われています。

局を」など自由な発想で大きな夢(ホラ)が語られました。時には奇抜な演出や仮装もあり会場は大爆笑。最高賞の「初夢大賞」をはじめ「たいしたもんで賞」「村長にしたいで賞」など賞の名称も大変ユニークでした。



ユニークな発表が相次ぎ会場が沸いた平成7年の初夢拾う会。劇で夢(ホラ)を語ったグループも。



平成3年新春村民のつどいのポスター。初夢拾う会の初夢大賞には仔牛を1頭贈ると書かれています。

## ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

### おすすめ図書を紹介します

ことしもよろしく  
お願いします。

### 『クスノキの番人』



東野圭吾 著  
実業之日本社

1月30日にアニメーション映画として全国公開される原作小説。クスノキの番人として、人として大きく成長していく玲斗。ファンタジーで心穏やかになる1冊をどうぞ。

### 『絵本ライブ』を開催します

1月25日(日)午後1時30分から、交流センター「ふれ愛館」にて、『絵本ライブ』を開催します。楽しい歌や演奏に合わせた読み聞かせは、心も体もわくわくしますよ。ぜひご参加ください。

問 生涯学習課 ☎0244-42-0072

## ニホンカモシカを見かけたら

ニホンカモシカは、特別天然記念物ですので、死亡した個体が確認された場合には、その状況を県・国に報告する必要があります。村内で、死亡したニホンカモシカを発見した場合は、生涯学習課までご連絡をお願いします。

また、ケガをして動けないニホンカモシカを見かけた場合も、そっとしておき、生涯学習課にご連絡ください。

村外で同様のケースに遭遇した場合は、発見場所の自治体にご連絡ください。



問 生涯学習課  
☎0244-42-0072

## 第7次総合振興計画が完成



令和8年度から10年間の指針となる飯館村第7次総合振興計画(案)は、12月議会で可決され、成案となりました。

### ダイジェスト版を作成します

村は、村民の皆さんと共に、この計画を実現していきたいと考えております。計画書をホームページで公開すると共に、ダイジェスト版を作成し、3月頃に全戸配付を行う予定です。

問 村づくり推進課企画定住係  
☎0244-42-1622

## ■ひとのうごき

### おくやみ

氏 名	年齢	行政区
嶋 原 ワカ子 さん	96	長 泥
菊 地 英 子 さん	89	蕨 平
佐 藤 フミヨ さん	101	二枚橋・須萱
阿 部 ヤス子 さん	93	佐 須
高 橋 喜 勝 さん	88	長 泥
浦 住 叔 子 さん	92	前 田
山 中 一 宣 さん	85	二枚橋・須萱
遠 藤 弘 子 さん	93	前田・八和木

ご冥福をお祈り申し上げます



(11月21日から12月15日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。



ひとのうごき 令和7年12月1日現在

人 口	今月 (前月比)	11月1日～30までの人口動態
●男	2,220人(ー6)	転入 1人
●女	2,136人(ー10)	転出 10人
計	4,356人(ー16)	出生 1人
世帯数	1,785戸(ー3)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

住まいのこれからについて一緒に考えましょう!



佐藤 昇さん  
(草 野)



## 空き家サポーターMessage 住まい継ぐ村の宝

住まいの定期的なメンテナンスをしていますか?

いいたて空き家サポーターの佐藤昇です。皆さん、飯館村の中古住宅の価格がいくぐらいか、気になりますか?10月に行われた空き家サポーター意見交換会で、相双宅建支部長の丹治様のお話を聞きました。現状は坪単価1万6,500円~4万円(役場周辺・伊丹沢・白石周辺はやや高め)とのこと。建物の価格は、築20年を超えると減価償却でほぼゼロなのが一般的ですが、維持管理(手入れ)が行き届いている物件には古くても値が付くそうです。本来の価値が損なわれないよう、定期的なメンテナンスが大事ですね。大切な住まいの利活用のご相談は空き家サポーターまたは3どまでどうぞ。

空き家空き地バンク・住まいの利活用に関するご相談は  
いいたての暮らしをつなぐステーション3ど  
(いいたて移住サポートセンター) 道の駅のサテライトは、日  
伊丹沢字伊丹沢578番地1 曜日(午前11時~午後2  
☎0244-68-2850 時)もご相談可能です。



皆さんが広報委員!

フォト

いいたて PHOTO リレー

月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



撮影 大和田 諒さん・裕日子さん  
テーマは「村での出会い、新しい命」



飯館村役場産業振興課職員の大和田諒さんと、生涯学習課職員の大和田裕日子さん。二人は昨年1月に結婚し、今年の9月に新たな命に恵まれました。「どんな人とも協調性をもって、周りの人達との関係を調律できる子になってほしい」「まっすぐな人間に育ててほしい」という願いを込めて、「律(りつ)」という名前にしました。本当にかわいくて、大切な存在です」と笑顔をほころばせながら語ってくれました。12月中旬には乳幼児健診に合わせて親子で役場を訪れ、各課職員にご挨拶。迎えた職員は親子の幸せそうな様子を見て笑顔を浮かべ、それにつられて律君もニコニコです。「笑顔をみせると、一緒になって笑うんです」とのこと。名前のおとり、みんなと一緒に笑顔になれる、元気な子どもに育ってくれることでしょう。

2月号  
1/16締切

例えば…「新年」「成人式」「七草がゆ」「梅」をテーマに。

3月号  
2/16締切

例えば…「節分」「バレンタイン」「ウグイス」「猫」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1~2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選 考 応募多数の場合は選考します。
- 報 償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613

## 山津見神社例大祭 伝統の祭りに新たな彩りを添えて

12月4日から6日に、山津見神社で例大祭が行われ、実行委員会による催しで賑わいました。

平安時代に創建されたと伝わる山津見神社では旧暦の10月17日に山の神を敬い山の恵みに感謝する「山御講」が行われており、それに合わせて旧暦の10月15日から17日に行われる例大祭にも多くの人が出がありました。震災後も祭事は継続されていましたが、出店や芸能

の奉納を伴う例大祭は震災後初めて。地域の人が萱などを使って建てる手づくりの茶屋も復活し多くの参拝客が「懐かしいな」と次々にのれんをくぐっていました。

また、地元の人に加えて移住をしてきた人やボランティアも名を連ねた実行委員会の企画で、伝統芸能と共に演劇や詩の奉納も行われ、アートが融合した祭りの雰囲気



①



②



③



④



⑤



⑥

①相馬中村藩主・相馬氏の末裔で第34代にあたる相馬行胤（みちたね）さんが村内を巡行。写真は山津見神社参拝のシーン。②福島大学の学生が練習を重ねてきた「佐須の虎捕太鼓」を奉納。③小唄が舞う中、詩人の和合亮一さんが「辭（ことば） 神楽 狼」を奉納。④野宮有姫さん演出の演劇の奉納。⑤⑥屋台が並ぶのは15年ぶり。地元の「佐須茶屋」も復活。

販売決定！

プレミアム付

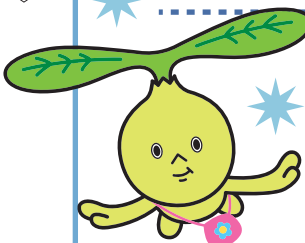
いいたてほのぼの商品券

物価高騰が続く中で家計を応援！  
飯館村独自の事業です。

商品券は飯館村商工会が販売。  
1冊 8,000円分の商品券を  
5,000円で販売します。

販売は1月下旬から。購入できるのは  
村民と村内勤務者とふるさと住民。  
詳しくはお知らせ版をご覧ください。

飯館村商工会 ☎0244-26-7957  
産業振興課商工観光係 ☎0244-42-1620



〈編集後記〉

年末は冬らしい寒い日が続き、飯館村の夜もかなり冷え込んできました。先日夜に何となく外に出て空を見たところ、澄んだ空気の中、星が綺麗に見え、写真を撮るのに夜中に1時間程奮闘していました。自分なりに上手く撮影できたと思うのですが、やはり目で直接見る星空の方が綺麗です。年越しで飯館村にお戻りの皆様も、ぜひ

ひ夜空を見上げてみてください。本年もどうぞよろしくお願ひします。（巻野）  
山津見神社の例大祭。地元の皆さんによる佐須茶屋はテーブルや椅子も含め全体が手製と聞いてびっくり。各テーブルの下に炭がおこしてあり足元はポカポカ。湯気ももうと立つうどんをすすって初めてなのになぜかとても懐かしい気持ちに満たされました。（星）